

●●株式会社●● 御中

# セキュアなChatGPT環境提供のご提案

## ChatGPT環境と生成AI活用に関するセミナー

2023年MM月DD日

BIPROGY株式会社

# BIPROGYのAIの取り組み

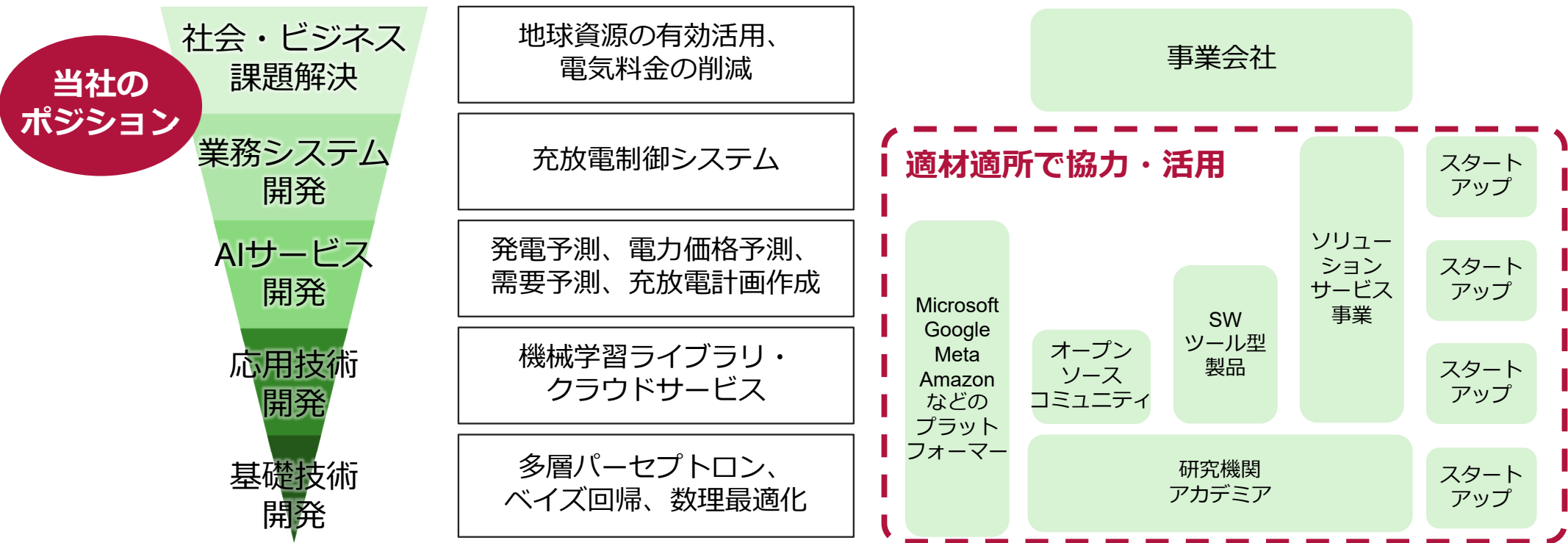
1

# BIPROGYにおけるAIのとりくみ

- 社会や顧客の課題を解決する強力なツールとしてAIを位置づけ。様々な製品や技術を適材適所で組み合わせ課題を解決を目指します。

例

主要プレイヤー



# BIPROGYのAI関連ビジネス

- AI技術を業種毎のインダスソリューションに組み込み提供
- データサイエンスや自然言語処理技術による、ソリューションを提供

## 2023年度における主な取り組み

インダストリーレイア (抜粋)

- 小売業向けAI自動発注  
AI-Order Foresight
- Dr.Bridge®  
(ドクターブリッジ)  
AI橋梁診断支援システム
- スマート保安 発電所・プラント  
巡視点検支援サービス
- EV 充放電サービス
- 会計・経理業務を AI の力で効率  
化する Robota & Remota

共通分野 (抜粋)

- 顧客データ分析サービス  
RinzaTarget データ活用
- AIを活用した業務効率化  
サービスRinzaTalk NLP
- BRaVS Library®/BRaVS  
Platform® 画像・音声
- システムインテグレーション  
サービス 多分野/新技術

## 活動事例 (ニュースリリース)

2023年8月：企業向け「ChatGPT」利用環境構築サービス  
「Azure OpenAI Service スターターセットPlus」の提供を開始

2023年5月：電気自動車 (EV) の充放電をAI で自動制御する「EV 充放電サービス」を提供開始

2023年2月 BIPROGYと富士シティオ日配品のAI自動発注で、働き方改革と廃棄ロス削減を実現しSDGs 達成に貢献

2023年2月 金融機関向けカスタマーサクセス高度化プロジェクト

2022年12月 東北電力にAI やロボットを活用した「巡視点検支援サービス」

2022年11月 広島県革新技術活用制度に AI 橋梁診断支援システム「Dr.Bridge」が登録

2022年2月 尾道市、尾道市立大学、日本ユニシス  
尾道市の人流データ解析で地域活性化を目指す、群集マネジメント共同研究を開始

2021年4月  
「医療AIプラットフォーム技術研究組合」(略称「HAIP」)を設立

2020年6月  
「内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)」第2期において  
「AI ホスピタルによる高度診断・治療システム」社会実装に向けたプロジェクトを開始

# セキュアなChatGPT環境のご提案

01

# 生成AI（ChatGPT）が期待されるユースケース

- 「判断」中心のAIから、「結果を生成」するAIへ
- 新たな活用シナリオによる差別化要素の創出が期待されます

情報の取得

暗黙知の言語化

アイデアの創出

データ分析

#	業種	想定されるユースケース
1	マーケティング/営業	商品や顧客意見のフィードバックの分析や要約
2	業務	社内問合せに対する回答文、文章校正、プロセス自動化
3	IT開発	ソースコードの生成、プログラミング言語の変換
4	法務・リスクマネジメント	リーガル文書の草稿作成、文書要約、照会回答
5	人事・教育	社内問合せの回答文、採用面談の質問リスト、教育プログラムの構想
6	その他社内業務	メール文の作成、プレゼン資料、文書要約

# BIPROGYが考える企業における導入の進め方

## ■ 生成AIの活用に必要な3要素

	生成AIの用途	人材・リテラシ	活用ポリシー
課題	差別化要素を創出する ユースケースを 定める	生成AIの活用できる 体制の整理 従業員のリテラシー確保	倫理的、法的な保護可能な ルール制定
対応	対象業務の選定  効果の測定	プロンプト操作できる人材  生成物の活用可否の判断  利用促進体制	活用ルール作成  作成組織と管理体制  具体的な情報管理の基準

# BIPROGY社の Azure OpenAI Service 提供の特徴

調査検討 → 利用検証 → 業務実装  
マイクロソフト社との関係性とICT技術を駆使して  
すべての工程で 業務構築支援+ITシステム構築 に対応します

①調査検討フェーズ

②利用検証フェーズ

③業務実装フェーズ

## Azure OpenAI Service スタートセットPlus

セキュアに試せる  
ChatGPT環境

チャット画面  
(RinzaTalk Plus)

Azure OpenAI Service  
(CLOUD Foresight Integration)

活用シナリオ検討を  
支援するセミナー

セミナー

ワークショップ

業務適用前 利用検証

検証計画

検証環境構築

検証実施

検証評価

業務環境

本番環境構築

業務適用・  
ルール策定



# 生成AIの用途を定める

- 第一歩目として問題をかかえる業務プロセスを洗い出し、課題の本質を特定し、生成AIによる代替の効果を検討します。
- 問題解決が図れるか、技術的に検証し業務への適用を行います。

以下の議事録から「自動応答のアクションアイテム」「会議全体の決定事項」を抽出してください。

## 議事録

A: 皆さん、本日の会議により、今日の議題はChatGPTの活用方法を考えていますか？

B: ChatGPTを利用して、カスタマーサポートの対応を自動化するのに対して、自動的に適切な回答を生成できる仕組みを構築したいです。

C: 私たちはChatGPTを利用して、教育分野での学習支援ツールを開発するのを検討しています。適切な回答を生成できる仕組みを構築したいです。

A: それぞれのアイデアは非常に興味深いですね。しかし、ChatGPTの精度向上のために、モデルを事前トレーニングし、ドメイン固有のデータセットでファインチューニングすることが決定された。

次の会議までに各社が実装プロトタイプを作成し、それらの活用方法をデモンストラレーションすることが目標とされた。

次の会議は2023年7月28日に設定され、実装の進捗とユーザーフィードバックの報告が議題とされた。

アクションアイテム:

参加者 B: ChatGPTを利用して、カスタマーサポートの対応を自動化する実装プロトタイプを作成する。ユーザーフィードバックを収集し、フィードバックを収集する。

参加者 C: ChatGPTを利用して、教育分野での学習支援ツールを開発する実装プロトタイプを作成する。ユーザーフィードバックを収集し、フィードバックを収集する。

会議全体の決定事項:

ChatGPTの精度向上のために、モデルを事前トレーニングし、ドメイン固有のデータセットでファインチューニングすることが決定された。

利用者からのフィードバックを収集し、モデルの改善に活かすことが決定された。

次の会議までに各社が実装プロトタイプを作成し、それらの活用方法をデモンストラレーションすることが目標とされた。

次の会議は2023年7月28日に設定され、実装の進捗とユーザーフィードバックの報告が議題とされた。

魅力的に感じる活用シナリオの実行例

プロセスマップ

```

    graph TD
      A[A] --> B[B]
      B --> C{C}
      C --> D[D]
      C --> E[E]
  
```

問題解決

特定プロセスの代替・効率化

マッチング

ありたい絵姿の実現

AIで出来ること

- 数値予測
- メディア認識
- 数値データ
- スケジュール
- 順序付け・選択
- メディア生成

検討プロセスの全体感とプロセスマップ

# BIPROGYのAIガバナンスと人材

- 「機械学習」に比べ、生成AIの利用のハードルは下がりました。
- 利用者、管理者ともに一定のスキルやルール順守が求められます。

※BIPROGYの例

## AI倫理指針

2020年2月3日  
日本ユニシスグループ  
AI倫理指針 を制定  
(2022年5月更新)

功罪の両面を持つ AI 技術を用いて、「顧客・パートナーと共に社会を豊かにする価値を提供し、社会課題を解決する企業」として、AI に関する倫理指針を表明

2020年度より全役職員を対象にセキュリティやプライバシー、などデータ主体の保護、人権の尊重と個人の自律、適切な範囲でのAI利用など指針の周知教育中

## 人材およびパートナー体制

### 人材育成

2017年データサイエンティスト  
2019年より画像解析やIOT分野  
の人材育成を拡大中

### AI/IOT分野の専門体制 「AIセンター」

2022年AIのビジネスの適用支援  
を専門に行う体制を整備

### パートナーリレーション

マイクロソフト社等AIベンダー、SIに向け高度技術（AI等）をもつ企業との関係を強化

## ガバナンス

### プロジェクト品質管理

ISBP(Information Service Business Process)にもとづく品質マネジメントのなかで、AIシステムのリスクと考慮点を踏まえたプロセスを規定

### 生成AI内部利用規定

2023年4月ChatGPTなど生成AIの業務利用についてのガイドラインを制定、全役職員が活用

規制やニーズ変化に対応できるようアジャイル型の運用

[https://www.biprogy.com/com/ai\\_ethics\\_principles\\_BIPROGY\\_group.pdf](https://www.biprogy.com/com/ai_ethics_principles_BIPROGY_group.pdf)

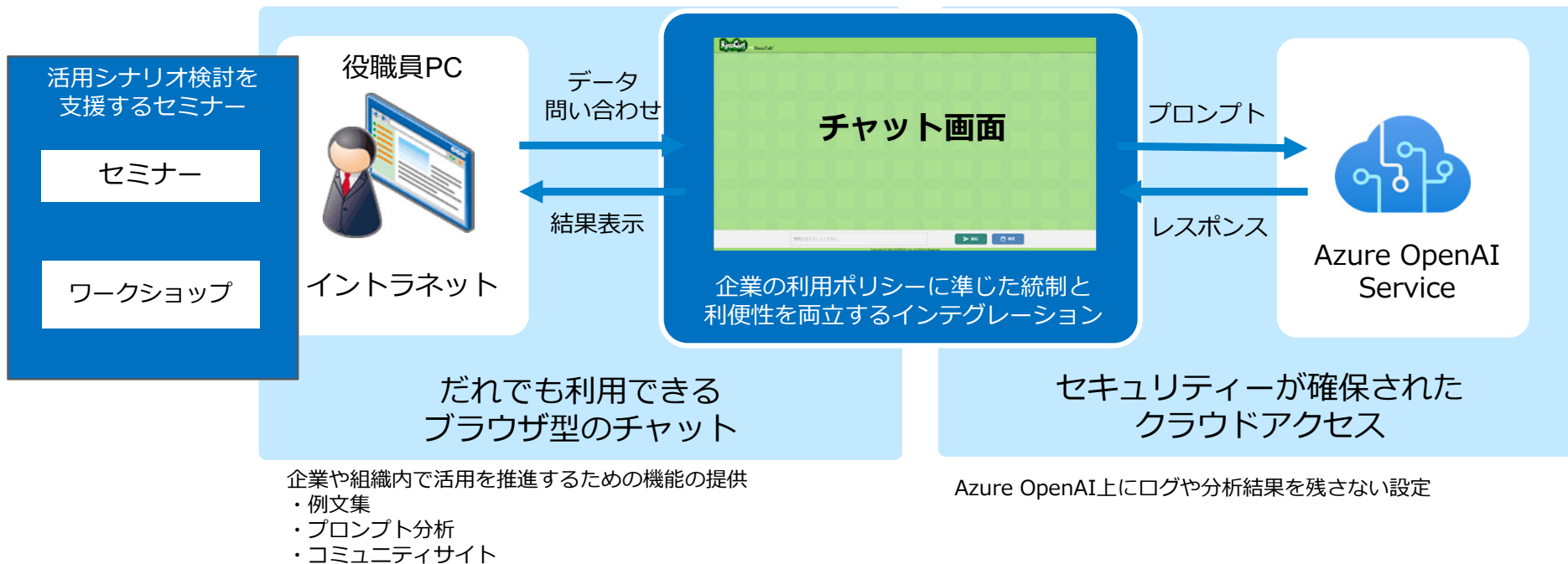
# ① 調査検討フェーズ (スターターセット対象)

## ① 調査検討フェーズ

## ② 利用検証フェーズ

## ③ 業務実装フェーズ

自社内にセキュアなChatGPT利用環境を構築することで、ChatGPTへの技術的理解や利用法を学び、業務への適用アイデアを検討する期間とします。  
システム環境だけでなく、業務プロセスの棚卸、および課題を整理するセミナーやハンズオンも提供致します。



## ② 利用検証（PoC）フェーズ

① 調査検討フェーズ

② 利用検証フェーズ

③ 業務実装フェーズ

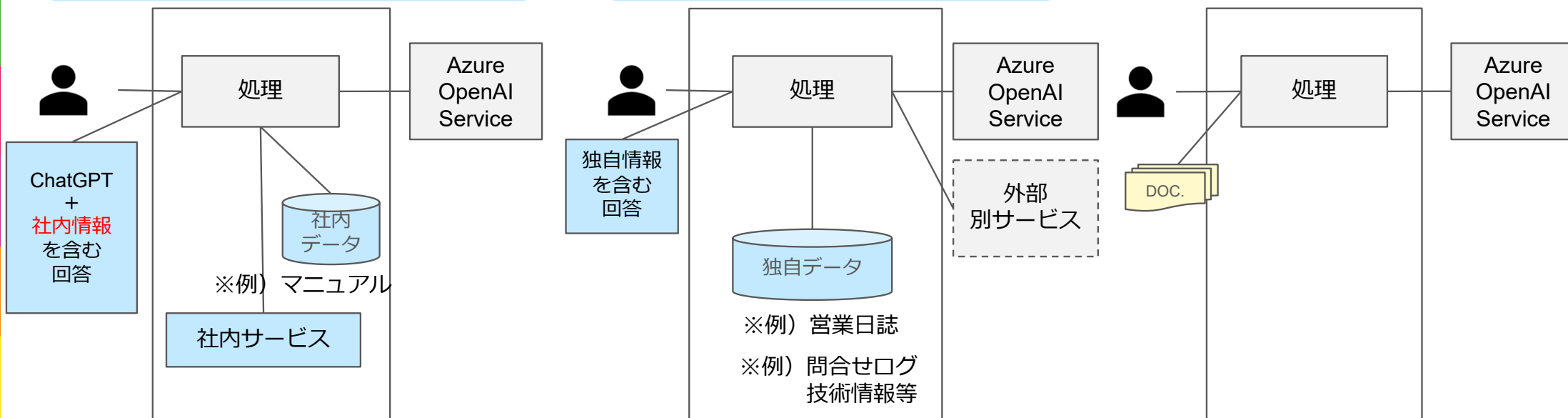
①の段階で決定した業務課題の解決方法を検証します。検証するために必要最低限な環境または本番環境を作成します。BIPROGYは、頻出要望である以下の3つのユースケースシナリオの実装を想定しています。

業務適用・ 利用検証フェーズ（業務適用前の検証を実施します）

A: 最新／社内データに対する質問応答

B: 蓄積されたデータの自動分析

C: ドキュメントの作成支援

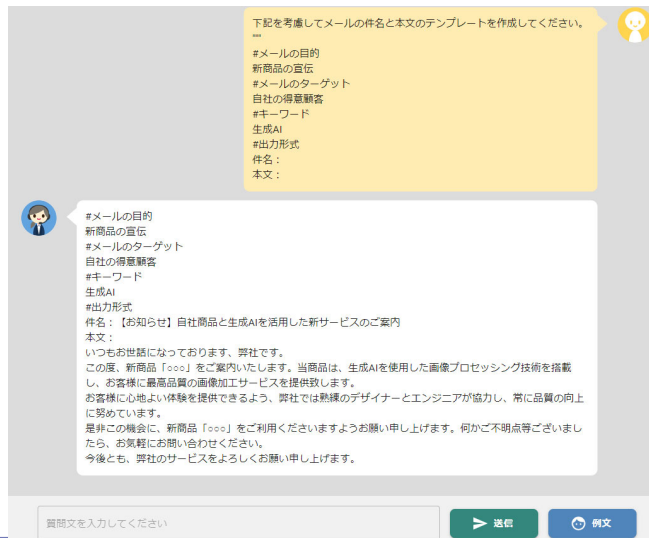


### ③導入事例 「デジタル／IT」

## ■ 各部門が自由に生成AIを活用することでアイデアを創出

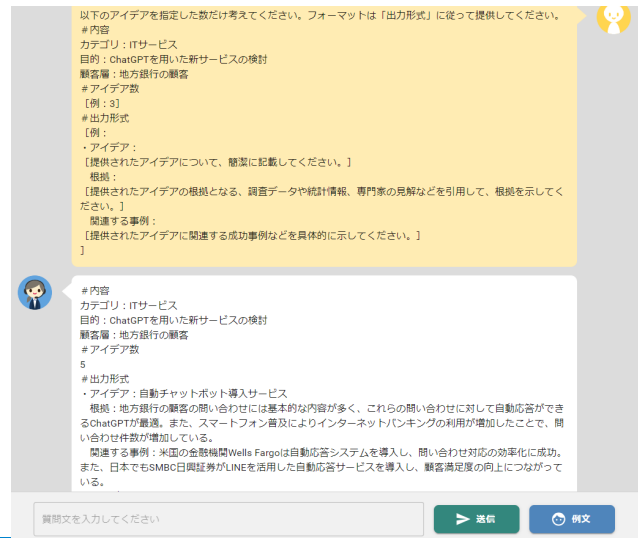
#### 広報／マーケティング部門

- 宣伝文句や宣伝用メールの文章を作成に利用
- 文章作成にかかる時間が半減



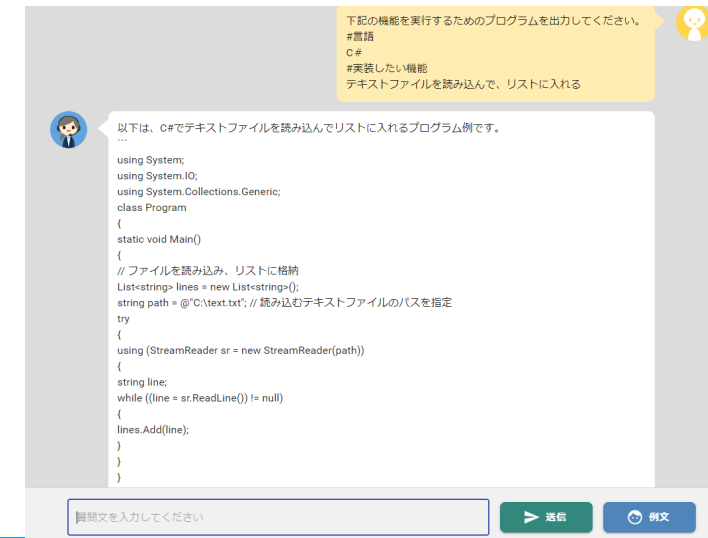
#### 企画部門

- 特定分野（例：生成AI）の新企画アイデアの壁打ちとして利用
- 頭が活性化され、自分では自分では出てこないアイデアが提供される



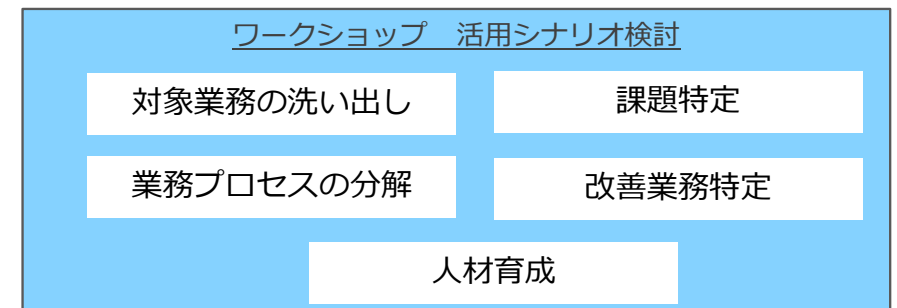
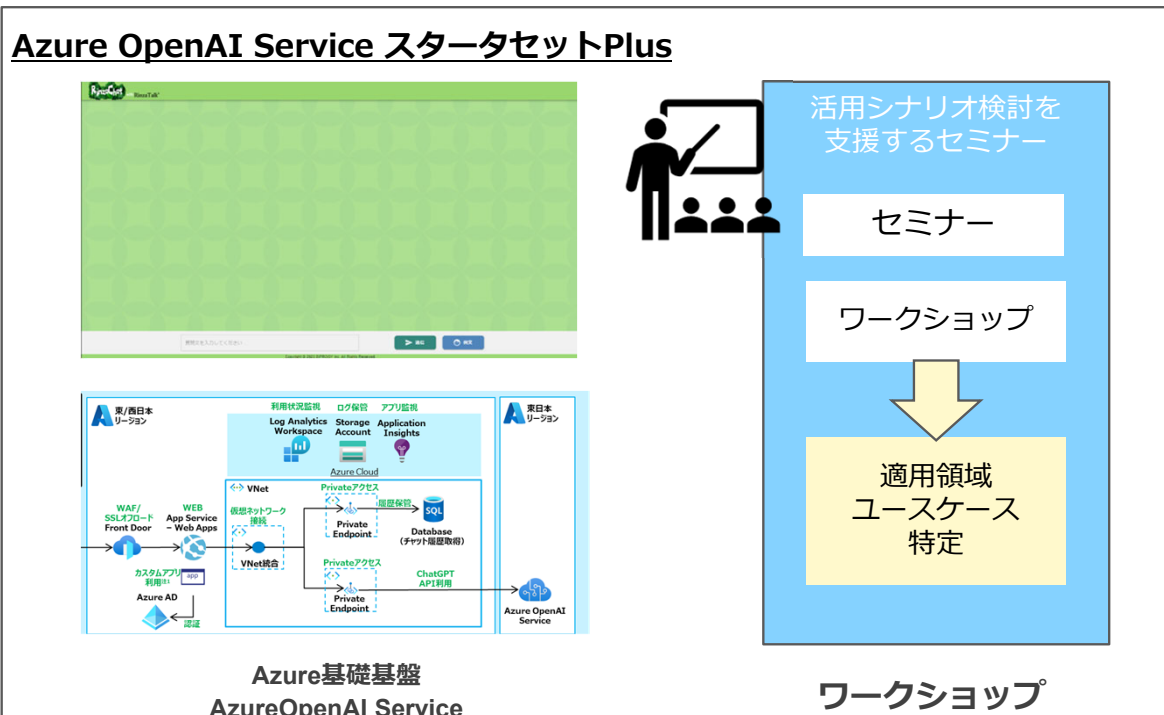
#### システム開発部門

- プログラミング工程でコード生成利用研究
- 開発工程を改善し、新たなサービス価値の創出に向けた検討



### ③導入事例 「事業会社／自治体など」

- 組織全体として活用の検討を実施
- 適用可能性のある実業務を選定、システム思考で分析し利用可否を判断



- 業界動向などを参考に、利用に向けたガイドラインの策定や人材教育などを進める。
- 事務におけるChatGPT活用に向けたトライアルとして、生成AIの価値や活用シナリオを検討。
- ChatGPTを操作するための、プロンプト作成研修などを通じ、利用のための基礎技術を習得

## ご提案概要

- 汎用利用を目的としたセキュアなChatGPT環境のご提供と、生成AIの理解／活用シナリオの検討をご支援するセミナーをご提案いたします。

### 生成AI活用で重要なポイント※1

- 潜在的可能性： 自社を差別化するユースケースを特定する
- 人材： 組織構造を生成AIに適応させ、従業員の体制を整える
- ポリシー： 倫理的な「ガードレール」と法的保護を設ける

BIPROGYの専門家が以下のオプションで上記の推進を支援します

#### セミナー講演

AI全般

生成AI

業界事例

ハンズオン

#### セキュアなChatGPT環境提供

チャット画面

Azure OpenAI Service

トライアル伴走支援

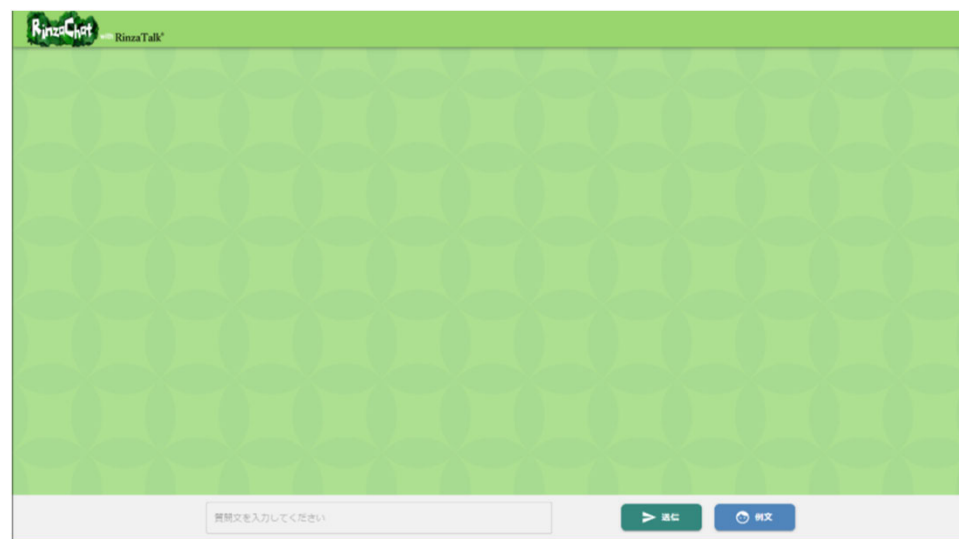
※1 BCGレポートより引用: <https://www.bcg.com/ja-jp/publications/2023/ceo-guide-to-ai-revolution>

## チャット画面 イメージ

- チャット画面はエントランス画面とChatGPTとの会話画面を提供。
- エントランス画面では利用上の注意などを掲載するが可能。
- 会話画面では「例文」活用し、簡単にプロンプトの利用が可能。



エントランス画面

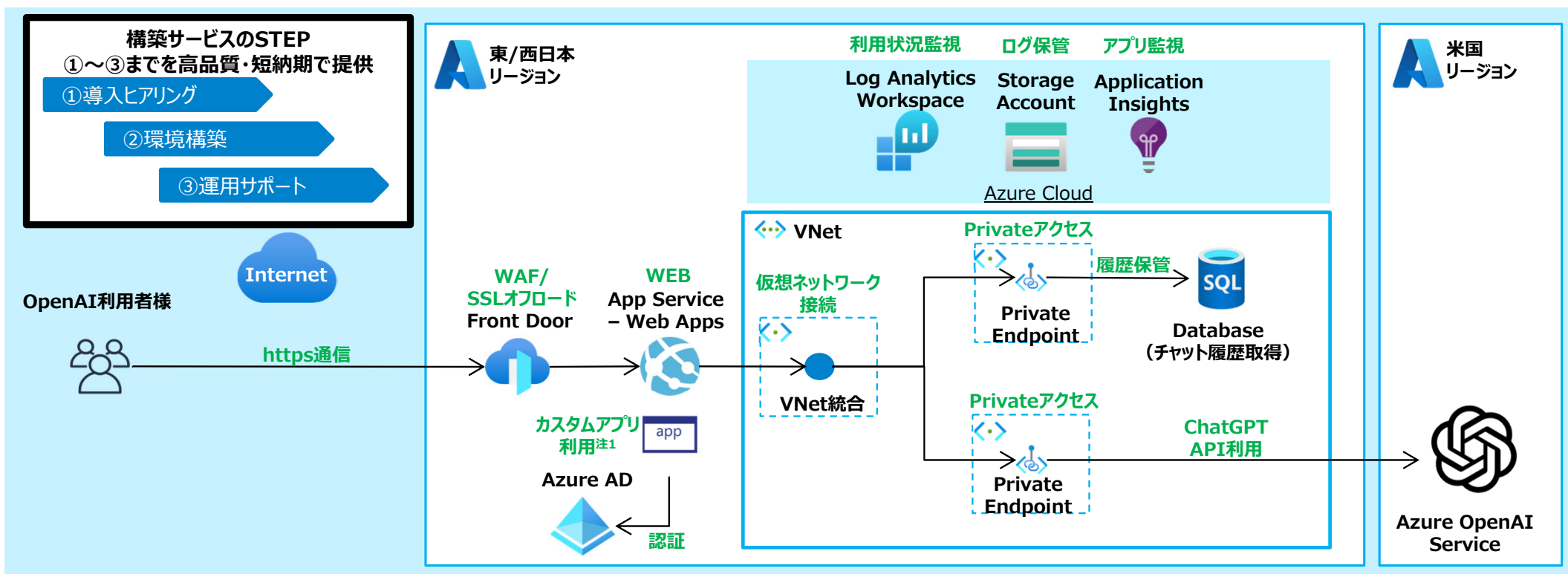


ChatGPTとの会話画面



# 提供するChatGPT環境

- お客様専用のAzure環境へOpenAI及びチャット画面Webアプリケーションを構築します。



# セキュアなChatGPT環境提供 前提条件

セキュアなChatGPT環境構築は、以下の前提となります。

## 前提条件

- 利用者ブラウザはGoogle ChromeおよびMicrosoft Edgeとなります。
- 導入サービスはクラウド環境にチャット画面を導入してお客様へ環境を提供します。
- 保守サービスはクラウド基盤およびチャット画面の問い合わせに回答します。クラウド基盤の保守はBIPROGY提供のCSP契約時のみ保守可能となります。
- 認証はAzureAD認証および認証なしを選択可能です。
- 提供基盤はIP制限を用いてお客様環境と接続します。
- AzureOpenAIサービスのChatGPTモデルを利用します。
- AzureOpenAIサービスの制限により利用制限が掛かることがあります。  
※AzureOpenAIサービス利用制限：<https://learn.microsoft.com/ja-jp/azure/cognitive-services/openai/quotas-limits>
- AzureOpenAIサービスの利用申請を提出し承認されるまで時間を有する場合があります。
- 個別認証、基盤構成変更、画面修正等は個別対応となります。

## セミナー講演

- AIや生成AIに関する基礎知識とお客様の業種・業界における事例を紹介します
- 活用シナリオを検討するために必要なプロセスをワークショップ形式で伴走支援します

セミナー講演

AI全般

生成AI

業界事例

ハンズオン

トライアル伴走支援

業務プロセスの  
洗い出し

課題の把握

課題の選定

課題の解決に向けた  
ハンズオン

振り返り



# 伴走支援の内容について（仮）

## 業務プロセスの洗い出し

AI基礎と適用プロセスを理解し、  
第一歩目として業務プロセスを  
明らかにする。

IN: AI基礎  
IN: 適用プロセス  
ACT: プロセスマッピング  
OUT: プロセスマップ

## 課題の把握

生成AI基礎と事例を理解し、  
業務プロセスの中で適用可能性の  
ある課題を洗い出す。

IN: 生成AI基礎  
IN: 地方自治体事例  
ACT: ブレインストーミング  
OUT: マイ課題シート

## 課題の選定

トライアル環境による試行を通して、  
実現難易度や業務インパクトを加味し、  
深掘りする課題を選択する。

IN: プロンプトエンジニアリング基礎  
ACT: トライアル  
ACT: ブレインストーミング  
OUT: ヒアリングシート

## 課題の解決に向けた ハンズオン

選定した課題に対し、プロンプトを  
深掘し、活用シナリオを明確にする。

IN: 課題解決に向けた  
プロンプトエンジニアリング手法  
IN: トライアル  
OUT: プロンプト例  
活用シナリオシート

## 振り返り

機能性に対し技術的な課題や要検証事項を明ら  
かにする。

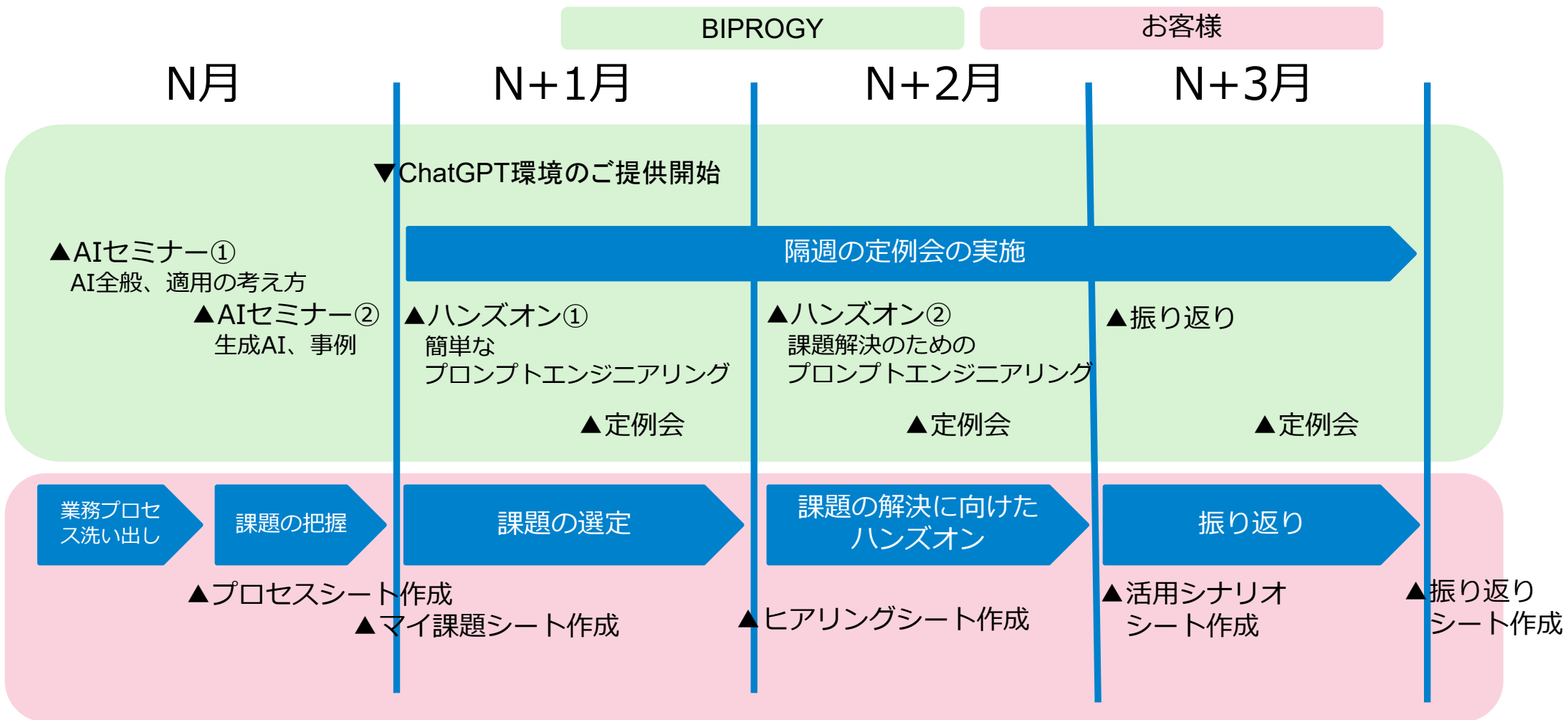
人材やポリシーに対して要検討事項を明らかに  
し、次工程のタスクを整理する。

IN: 適用プロセス/ポリシー事例  
OUT: 振り返りシート

※現在開発中のため、一部変更となる可能性があります。



# スケジュールイメージ



## ご参考価格

### ■ 「Azure OpenAI Serviceスターターセット」 標準仕様ご提供価格

分類		内容	価格
一括	セミナー／トライアル伴走支援	2時間 x 8回開催	130万円
	Microsoft Azure※1	OpenAI構築パック（標準構成）	50万円～
月額	RinzaTalk Plus	画面	12万円 （月額）
	Microsoft Azure※2	OpenAI Service他（標準構成）	15.2万円～ （月額）

#### 価格について

※1 BIPROGYの標準構成を構築する場合の費用です。認証、ネットワーク構成などお客様のご要望に応じた構成を構築する場合は、別途個別お見積りにより対応いたします。

※2 BIPROGYの標準構成における費用です。Microsoft Azureの料金体系に準じます。

Azure OpenAI Service（データ量に応じた従量体系）と、その他月額定額のサービスにより構成されています。



**BIPROGY**

Foresight in sight